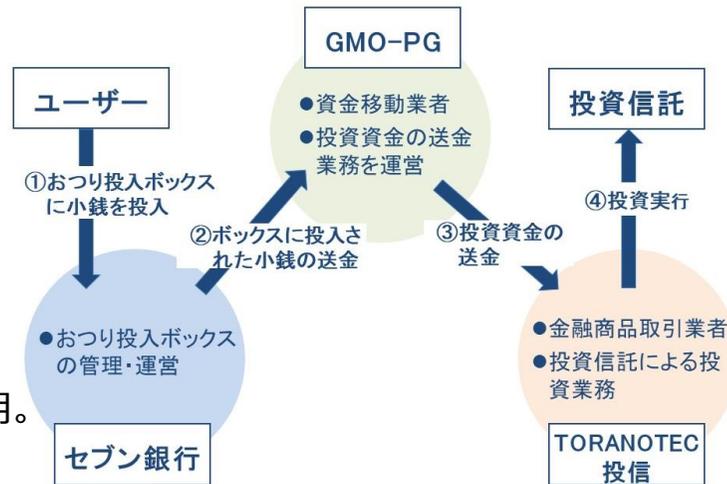


【FinTech実証実験ハブ⑤】リアルおつり投資サービスに関する実証実験

- 小売店に隣接した場所に設置されたおつり投入ボックスにユーザーが小銭を投入することによって、買い物の際に生じたおつり等をそのまま投資に回せるおつり投資サービス（本おつり投資サービス）を提供し、オペレーションが適法・適正に遂行できるかを検証。
- 参加企業は、TORANOTEC株式会社、TORANOTEC投信投資顧問株式会社（投資信託委託会社）（「TORANOTEC投信」）、GMOペイメントゲートウェイ株式会社（資金移動業者）（「GMO-PG」）、株式会社セブン銀行（装置の管理・運営等）、株式会社ポケットチェンジ（ベンダー）。
- 2020年2月から4月まで実証実験を実施。

実験概要

- (i) ユーザーは、アカウント認証を行った上でおつり投入ボックスに小銭を投入。
- (ii) ユーザーは、自己の端末のアプリ上で投入金を投資資金に回す承認（投資承認）を行う。
- (iii) 所定の日に投資承認が確定（承認締め日）。
- (iv) 承認締め日の経過後、GMO-PGは、各ユーザーが承認した金額をTORANOTEC投信に送金。
- (v) TORANOTEC投信は、GMO-PGから受領した金銭を運用。
→オペレーションが適法・適正に遂行できるかを検証。



実験結果等

- 上記(i)~(v)の流れで本おつり投資サービスを提供し、オペレーションに問題が生じなかったことを確認。
- TORANOTEC投信が投入金を顧客分別金信託の必要額として認識する時期を承認締め日とする整理は妥当と考えられる旨、金融庁から回答。
- また、適切なオペレーションの下、本実証実験において実施された方法によって本おつり投資サービスが実施されるのであれば、投資ファンドの勧誘行為は介在しておらず、GMO-PGによる資金移動業の外部委託先の管理について、資金決済法の観点から特段の問題はないと考えられる旨、金融庁から回答。
- 今後、こうした投資の日常化・一般化を狙ったサービスの実現により、貯蓄にとどまらない、安定的な資産形成の取組みの促進等が期待される。